

平成20年度 地域分権

事業の評価書

神田地域コミュニティ推進協議会

平成21年6月19日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 高木 正彬 

記

事業の名称	安全パトロール実施事業
事業実施前の状況	PTAによる登校時の見守り活動は通学路を中心に実施されていたが、下校時を含め校区全体の安全パトロール体制がなかった。
事業実施後の状況	電動自転車による安全パトロール体制ができ、ボランティアを中心に下校時の校区内安全パトロールが実施された。(平成21年1月以降) パトロール実績 1月 23人/12日 2月 12人/8日 3月 16人/10日
事業の効果	安全パトロールによる直接の目につく効果はないが、地域住民に少しずつパトロール実施が認識されてきて、防犯意識の向上に役立っている。
今後の課題	ボランティア人員の確保・増員(現状13名)が必要。 パトロール実施をもっと目立たせるよう工夫(帽子など)が必要。

平成21年6月19日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 高木 正彬



記

事業の名称	水路転落防止柵設置事業
事業実施前の状況	農業用水路に転落防止柵がない箇所が多い。 (PTAアンケート調査でも指摘)
事業実施後の状況	江原川にかかる橋周辺の転落防止柵と、小学校近くの水路に 転落防止柵実施
事業の効果	実施した2か所については水路等への転落の危険は減少した。
今後の課題	校区内の危険箇所が多くあり、次年度以降優先度を考慮して継続実施 することが必要。

平成21年6月19日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 高木 正彬 

記

事業の名称	街路灯強化事業
事業実施前の状況	街路灯不足・照度不足が多く指摘されていた。 (放火事件発生を受けた自主防災会・消防団による夜間パトロールで指摘)
事業実施後の状況	自治会長・町会長を通じて要請のあった177件を中心に、 街路灯新設・照度アップを実施し、校区内の夜間が明るくなった。
事業の効果	校区内の夜間が明るくなったことにより、放火等への牽制効果 が出ていると思われる。
今後の課題	申請のあったうちの未実施個所の実施および町会・自治会組織 のない地域の街路灯強化が必要。 設置時トラブル ① 街灯新設に反対 1件・・・設置せず ② 設置後転居者からあかる過ぎて寝れないという苦情 1件 ・・・高さ調整で了解 ③ 農作物への影響について調整要請 2件 ・・・街灯の向きを調整することで了解 農地隣接の場所等に設置する場合は、高さ・向き等の調整が必要。